

平成17年度第3回岐阜県事業評価監視委員会議事概要書

日 時: 平成17年7月22日(金)

13:15~15:30

場 所: 全建総連厚生会館 5階 大会議室

開会の挨拶 (河野 経営管理部長)

議 事

1 議事概要書署名委員の指名

委員長から署名委員として小坂委員、野村委員、福富委員を指名。

2 再評価実施個所の詳細説明及び審議について

① 農業農村整備事業[農地整備室所管分]

・再評価箇所 県営かんがい排水事業(岐阜中流地区 各務原市)

・説明者 川瀬 農地整備室長

【審議内容】

Q) かんがい用の水はどこから取水しているのですか。

A) 新犬山橋下流の頭首工から取水し、羽島用水を経て伊木山にポンプアップしたのち導水します。

Q) 取水するにあたって水利権はどうしましたか。

A) もともと各務原市として岩屋ダムに水源を確保しており、今回事業化したものです。

Q) 事業地区の農業政策上の位置づけはどうなっていますか。この地区で対象とする作物はありますか。

A) 各務原市の農業政策に位置づけられ、地域ごとに特産を作っていくことになっています。この地区ではニンジンを主体とし、市の野菜団地に指定されています。図上で黄色着色の区域でニンジンを主体に栽培し、また、赤色着色の区域では麦を栽培しています。なお、連作障害を防止するためカブや大根等を栽培することもあります。

Q) 関連する別事業の計画はありますか。その事業の進捗はどうなっていますか。

A) 当該地区の北部で経営体育成基盤整備事業(事業費 10 億4千万円余)を実施しており、H17 年3月時点で 21.9%の進捗です。このほか、畑地帯総合整備事業(事業費4億1千万円余)を実施中で、同じくH17 年3月時点で 32.4%の進捗です。

Q) 水質改善とあるが、おがせ池はいっこうにきれいになっていない…

A) おがせ池周辺は最近住宅化し、これに伴い生活雑排水が流入し水質が悪化しています。この事業できれいな水を入れ、対流をおこして水質をよくする計画です。なお、これは今後行う工事になります。

Q) 1億5千万円のコスト縮減を図ったとのことですが、その内容を教えてください。

- A) 主に管の埋設基準の見直しをし、流用土を使用することにより1億4千万円、このほか、他の事業との合併施工により7百万円程のコスト縮減を図っています。
- Q) 県の食料自給率を教えてください。
- A) 今年は第2次食料自給計画の2年目で、平成18年度末で45%の自給率を目指していますが、平成16年度末で39%の見込みとなっており、ここ数年は横這いの状況です。

【審議結果】

県営かんがい排水事業(岐阜中流地区 各務原市)の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針(継続)を了承する。

(意見) 当事業と同じ時期に関連する農業農村整備事業が実施されていることもあり、全体を勘案して効果が大きな部分から先行投資するなど、スケジュールの調整をして進めていただきたい。

② 農業農村整備事業[農地整備室所管分]

- ・再評価箇所 県営基幹排水対策特別事業(石田地区 羽島市)
- ・説明者 川瀬 農地整備室長

【審議内容】

- Q) 平成18年度完了予定ですが、進捗率が平成7年度から昨年度末までで83%というのは遅いと思いますが、どうしてですか。
- A) 当該事業地区は、水路の下流部は田圃が広がり、上流部には宅地や廃線になった鉄道がありました。下流の工事は順調に進みましたが、上流の宅地や鉄道との事業協議に期間を要してしまいました。
- Q) 事業効果が早期に発現するような工夫をしていますか。
- A) 下流から工事を行うことによって、事業途中で供用が可能な区間を確保できるようにしています。
- Q) 事業計画は水路断面を大きくする工事ですが、どうして水路断面を変える必要があったのか、これで地下水位を下げるができるのですか。
- A) 地下水位を下げるために、現場の土質が砂質土なことから水路に柵板(4枚)をあてることによって地下水をしみ出させるとともに、断面の小さい箇所では、有孔U字溝を使って地下水を排水します。
- Q) 農地は生産の場だけでなく、多様な機能を持っている。地下水位を下げる工事に伴う生態系への影響、自然環境への影響も考えなければいけないが、そのような検討はしましたか。
- A) 平成7年度採択の事業なので、そのような点についての検討はしていません。

【審議結果】

県営基幹排水対策特別事業(石田地区 羽島市)の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針(継続)を了承する。

(意見) 今後の同種事業の課題として、生態系、自然環境に配慮した事業・工法を工夫していただきたい。

③ 農業農村整備事業[農地整備室所管分]

- ・再評価箇所 県営ため池等整備事業(松田地区 中津川市)
- ・説明者 川瀬 農地整備室長

【審議内容】

- Q) 平成12年度に事業採択され平成19年度完了予定ということですが、地元が早期完成を望んでいるのにどうしてこんなに期間がかかるのですか。
- A) 工種によって標準工期がありますが、工期が延びる傾向にあります。また、予算の状況によって進捗率が変わることもあります。早期完成に努力します。
- Q) この事業は、災害防止が目的ですか。
- A) 一般的な防災事業で、堤体等の補修を一体的に行っています。

【審議結果】

県営ため池等整備事業(松田地区 中津川市)の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針(継続)を了承する。

④ 農業農村整備事業[農地整備室所管分]

- ・再評価箇所 県営水質保全対策事業(羽島地区 岐阜市・羽島市・柳津町・笠松町)
- ・説明者 川瀬 農地整備室長

【審議内容】

- Q) 水路を暗渠(開水路をパイプライン化)にした結果、その上部にどの程度利用可能な土地ができますか。
- A) 管理道を含めた水路幅が約5mなので、5m程度が利用可能幅となりますが、埋設する管の種類や埋設深の関係上、管が破損する恐れがありますので大型車の通行は困難です。歩道としての利用なら可能です。

【審議結果】

県営水質保全対策事業(羽島地区 岐阜市・羽島市・柳津町・笠松町)の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針(継続)を了承する。

⑤ 農業農村整備事業[農村環境室所管分]

- ・再評価箇所 中山間地域農村活性化総合整備事業(まごめ 中津川市)
- ・説明者 服部 農村環境室長

【審議内容】

- Q) この地区での営農組合の農作業の受委託はどれくらいですか。
- A) 田畑を維持管理できないお年寄りのために、平成17年度で田植えを2.6ha受ける計画です。
- Q) 活性化施設とはどのようなものですか。どのような施設をいつ頃作る予定ですか。
- A) 地域の特色や地域のニーズにより施設の目的、規模は異なりますが、当地区では地元で生える竹等を加工する施設を考えています。しかしながら、施設建設予定地の近くに同様の施設があるので、地区に必要な施設は何か、検討しているところです。
- Q) 近くに道の駅(賤母)がありますが、実施主体はどこですか。

A) 国土交通省です。

Q) 地域振興のため、各種の事業を実施することは大切ですが、事業実施後の利用状況や、費用対効果のチェックも重要です。その点についてはどのように考えていますか。

A) そのとおりだと思います。作ることが目的ではなく、また、作るにあたっては、どう運用するか、コスト等についても検討する必要があると認識しています。

【審議結果】

中山間地域農村活性化総合整備事業(まごめ地区 中津川市)の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針(継続)を了承する。

(意見) 施設完成後の利用など、運用面にも十分注意を払って投資効果があがっているのか、チェックしていただきたい。

⑥ 農業農村整備事業[農村環境室所管分]

・再評価箇所 農村活性化住環境整備事業(飯地地区 恵那市)

・説明者 服部 農村環境室長

【審議内容】

Q) 農家の次男、三男の定着、定住化促進とのことですが、本当に効果があがっているのかどうか、非農用地、すなわち宅地を作ったけれど、誰も入らなかつたらどうするのですか。

A) 現時点で、すべての宅地について入居者が決定しています。また、この地区の人も、2、3世帯がこの場所に移ることになっています。

Q) 新たに加わる人はどこからくるのですか。土砂崩れの危険があるところに住んでいる人が移り住んでくるということではないですか。

A) その点については把握していません。

Q) 1、2軒のために何億という事業費を使って砂防施設等をつくっているが、こういった事業で危険な所に住んでいる人や、高齢で山の中に一人で住めない人を移住させる事業はないのだろうか。

A) 住宅対策については、基本的に国土交通省の所管になると思いますが、農林水産省の補助事業では困難だと思います。

Q) コスト縮減の一環として資源の再利用を行っていることはいいことだと思います。しかし、一番のコスト縮減は工期を短縮して、効果を早期発現すること、新工法などを積極的に採用して早期に完成させることが重要です。コスト縮減で余った予算はどうするのですか。

A) 事業の早期完了のため、次年度予定工事を前倒して実施します。

Q) B/Cが低いように思いますが、農業集落道の1日当たりの交通量はどれくらいでしょうか。ホテルへの影響を考えると現在のままでよい気がします。

A) 交通量は、今、把握していないので分かりません。

【審議結果】

農村活性化住環境整備事業(飯地地区 恵那市)の再評価は適正に実施されていることを確認し、事業主体の対応方針(継続)を了承する。

3 審議結果の取りまとめ

本日審議した各事案については、事業主体の対応方針を了承することを確認した。

閉会の挨拶（岡田部課長兼工事検査室長）

（会議の状況）

